

# 転入・転出に関するアンケート調査報告書 (概要版)

令和3年10月  
牛久市  
経営企画部 政策企画課

# 1. 調査の概要

## (1) 調査の目的

- ◆ 牛久市の転入を促進し、転出を抑制するための政策・施策を実践していくにあたり、転入者、転出者の属性や転入転出の理由等を収集・分析し、現状と解決すべき課題を把握するために実施。

## (2) 調査対象者

- ◆ 牛久市に、転入届、または転出届を提出した方

## (3) 調査方法

- ◆ 市役所にて転入届、または転出届を提出した方への任意の無記名アンケート

## (4) 調査期間

- ◆ 令和3年3月1日から令和3年5月31日まで

## (5) アンケート回収数等

- ◆ 587人（有効回答者587人）  
※「転入」または「転出」のいずれに回答しているかが判断できるものを有効回答とした。

# 2-1. 調査結果①

## 近隣市町における人口移動の動向（「報告書」P.27）

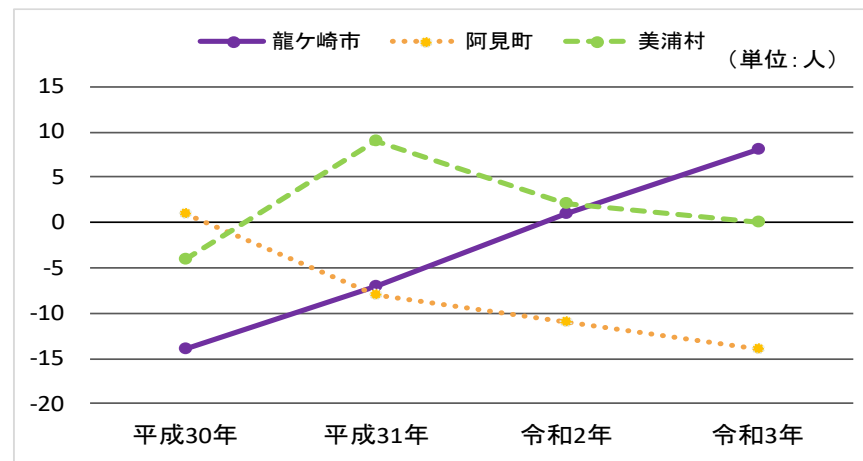
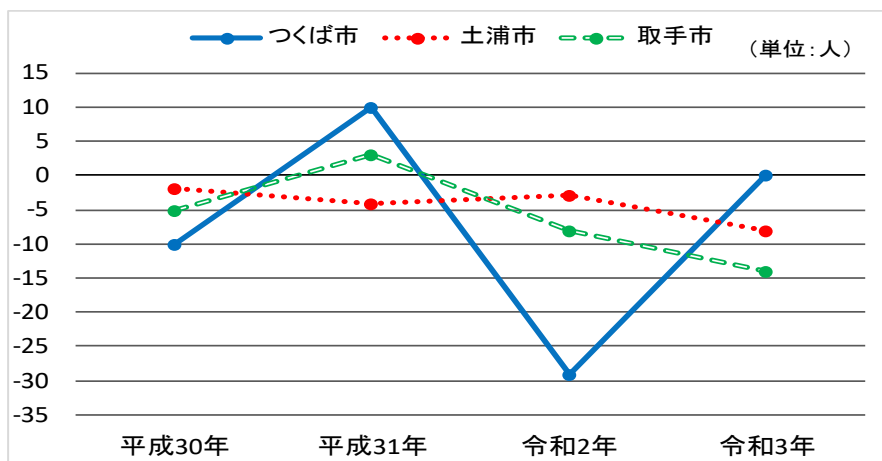
牛久市へ転入した人数と牛久市から転出した人数を自治体ごとに集計し、転入超過数または転出超過数を算出した。

○つくば市：転入・転出超過数にばらつき

○取手市・阿見町：転出超過の傾向

○土浦市：全ての年において転出超過

○龍ヶ崎市：転入超過の傾向



		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
つくば市	転入者	59	53	21	33
	転出者	69	43	50	33
	増減数	-10	10	-29	0
土浦市	転入者	25	26	12	14
	転出者	27	30	15	22
	増減数	-2	-4	-3	-8
取手市	転入者	17	13	2	4
	転出者	22	10	10	18
	増減数	-5	3	-8	-14

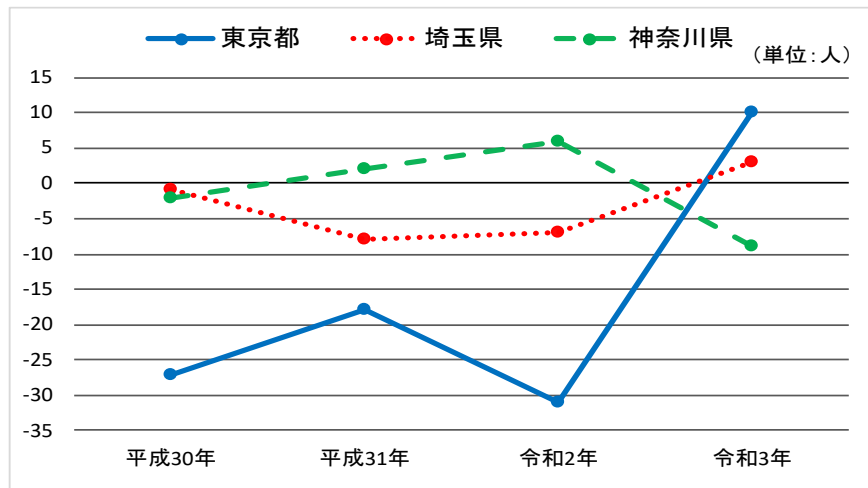
		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
龍ヶ崎市	転入者	29	17	10	19
	転出者	43	24	9	11
	増減数	-14	-7	1	8
阿見町	転入者	9	14	3	9
	転出者	8	22	14	23
	増減数	1	-8	-11	-14
美浦村	転入者	2	12	5	1
	転出者	6	3	3	1
	増減数	-4	9	2	0

## 2-2. 調査結果②

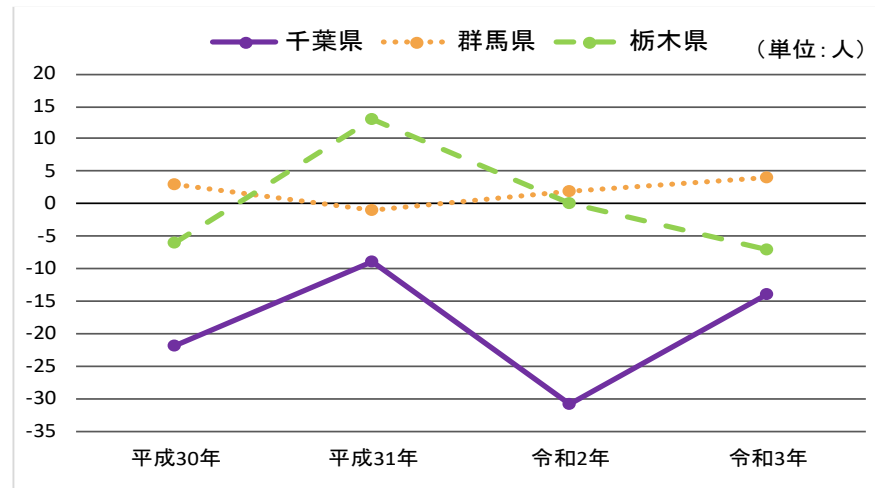
### 関東圏における人口移動の動向（「報告書」P.28）

○東京都・埼玉県：令和3年において初めて**転入超過**に転じた

○千葉県：全ての年において**転出超過**



		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
東京都	転入者	62	47	32	67
	転出者	89	65	63	57
	増減数	-27	-18	-31	10
神奈川県	転入者	30	20	32	21
	転出者	32	18	26	30
	増減数	-2	2	6	-9
埼玉県	転入者	29	20	14	23
	転出者	30	28	21	20
	増減数	-1	-8	-7	3



		平成30年	平成31年	令和2年	令和3年
千葉県	転入者	42	44	30	36
	転出者	64	53	61	50
	増減数	-22	-9	-31	-14
群馬県	転入者	5	4	4	6
	転出者	2	5	2	2
	増減数	3	-1	2	4
栃木県	転入者	2	14	4	5
	転出者	8	1	4	12
	増減数	-6	13	0	-7

## 2-3. 調査結果③

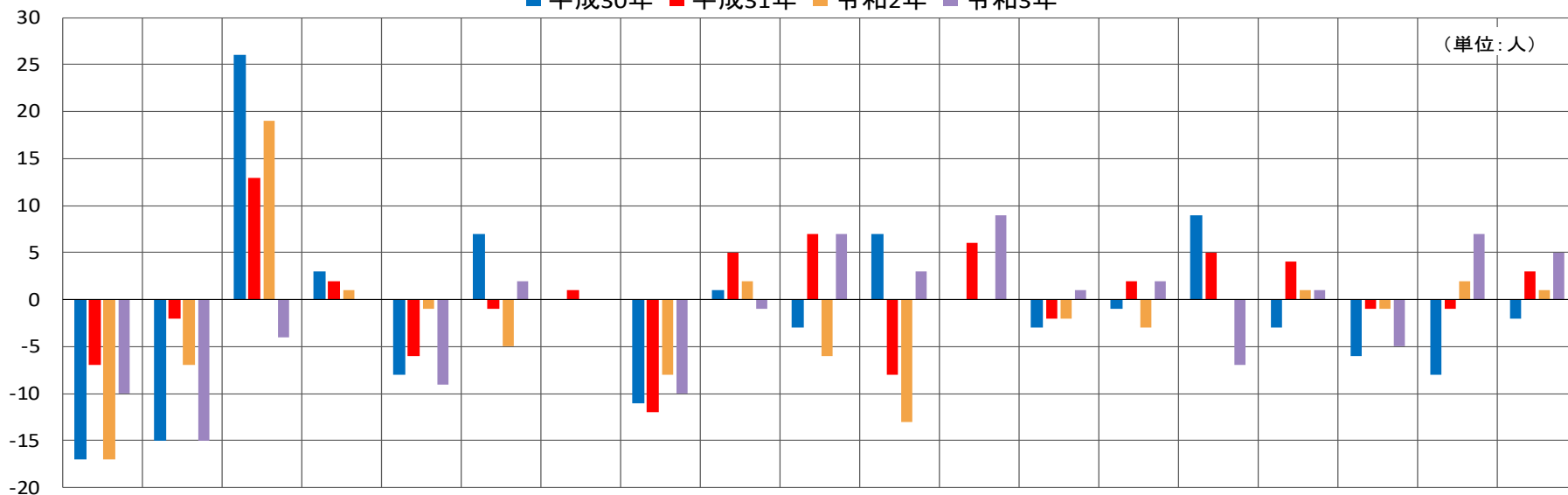
### 移動理由別にみた人口移動の動向（「報告書」P.29）

○「就職」・「転職（転業）」・「結婚」・「就学」・「交通の利便性」：

全ての年において**転出超過**

○「転勤」・「卒業」：令和3年において初めて**転出超過に転じた**

■ 平成30年 ■ 平成31年 ■ 令和2年 ■ 令和3年



(単位:人)

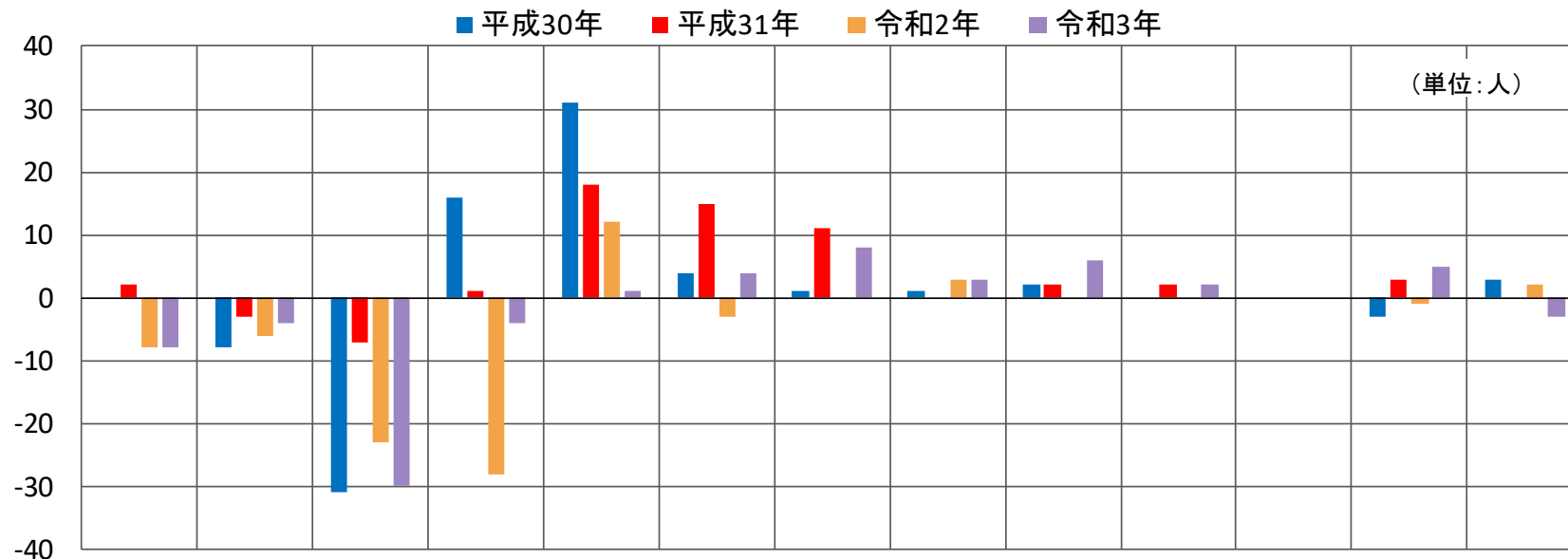
	就職	転職 (転業)	転勤	退職 (廃業)	結婚	離婚	縁組	就学	卒業	帰郷	住宅購入 (新築)	住宅購入 (中古)	親との同居	親との近居	家族からの独立	生活の利便性	交通の利便性	その他	無回答・不明
平成30年	-17	-15	26	3	-8	7	0	-11	1	-3	7	0	-3	-1	9	-3	-6	-8	-2
平成31年	-7	-2	13	2	-6	-1	1	-12	5	7	-8	6	-2	2	5	4	-1	-1	3
令和2年	-17	-7	19	1	-1	-5	0	-8	2	-6	-13	0	-2	-3	0	1	-1	2	1
令和3年	-10	-15	-4	0	-9	2	0	-10	-1	7	3	9	1	2	-7	1	-5	7	5

## 2-4. 調査結果④

### 年代別にみた人口移動の動向（「報告書」P.30）

○10歳代・20歳代：全ての年において転出超過

○40歳代：全ての年において転入超過



	0 ～ 9 歳	1 0 歳 ～ 1 9 歳	2 0 歳 ～ 2 9 歳	3 0 歳 ～ 3 9 歳	4 0 歳 ～ 4 9 歳	5 0 歳 ～ 5 9 歳	6 0 歳 ～ 6 9 歳	7 0 歳 ～ 7 9 歳	8 0 歳 ～ 8 9 歳	9 0 歳 ～ 9 9 歳	1 0 0 歳 以上	年 齢 不 明	そ の 他 記 入 不 備
平成30年	0	-8	-31	16	31	4	1	1	2	0	0	-3	3
平成31年	2	-3	-7	1	18	15	11	0	2	2	0	3	0
令和2年	-8	-6	-23	-28	12	-3	0	3	0	0	0	-1	2
令和3年	-8	-4	-30	-4	1	4	8	3	6	2	0	5	-3

- ◆ 近隣市町村における転入・転出超過数について、つくば市では転入・転出超過数にばらつきがあり、土浦市では転出超過の傾向がみられる。また、取手市や阿見町では転出超過の傾向が年々増しており、龍ケ崎市では転入超過の傾向が年々増している。
- ◆ 東京圏における転入・転出超過数をみると（下表）、平成30年から令和2年まで転出超過数が30～60人で推移していたが、令和3年は転出超過数が10人であり、東京圏への転出超過数が減少した。特に、東京都では、令和2年において初めて転入超過（10人）に転じた。

東京圏における転入・転出者増減数 単位：人

	東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	合計
平成30年	-27	-2	-1	-22	-52
平成31年	-18	2	-8	-9	-33
令和2年	-31	6	-7	-31	-63
令和3年	10	-9	3	-14	-10

- ◆ 「10歳代」「20歳代」では、全ての年において転出超過であり、若い世代における人口流出の傾向がみられる一方、「40歳代」では、全ての年において転入超過であった。